

会議報告

第37回東北家畜衛生協議会検討会および 東北支所主催各部門別検討会報告

IWAMURA Shokichi

動物衛生研究調整監 岩村 祥吉

第37回東北家畜衛生協議会検討会および平成21年度の東北地域病性鑑定各部門別および放牧衛生の検討会を以下の通り開催したので、概要を報告します。

第37回東北家畜衛生協議会検討会は、東北家畜衛生協議会（会長：動物衛生研究調整監）と動物衛生研究所東北支所の共催により平成21年10月29日、30日の両日、東北各県の家畜衛生担当者を中心に87名が参加し、青森市浅虫の海扇閣で開催されました。本協議会検討会は1973年の開始以来「関係機関の助言を受けながら、相互の集団衛生技術と対策成果を検討して、対策技術の水準化と研究成果を取り入れた改善試案、現場応用を図りつつ、現行技術体系の改善を会の基本方向とし、会の成

果が経年的に上昇して、地域畜産に貢献すること」を趣旨としています。今年もそれを継承し、牛の下痢・消化器病をテーマとして取り上げ、動衛研の環境・常在疾病研究チーム内田郁夫チーム長から「牛由来Salmonella Typhimuriumの遺伝子型別に基づく分子疫学的解析」、安全性研究チームの秋庭正人主任研究員から「牛由来サルモネラの薬剤耐性」、そして、北里大学獣医学部の大塚浩通講師から「子牛の下痢・消化器病と免疫の成長」についての講演が行われました。さらに、地球温暖化について注目される中、動物衛生分野として考えておくべき課題として、九州支所の梁瀬徹主任研究員による「ヌカカが媒介するアルボウイルス」についての講演も企画しました。また、各県から牛の下痢・消化器病に関連する事例報告と総合討論も活発に行われ、大変

有意義な検討会となりました。本協議会検討会は、東北地域の家畜保健衛生所に加え、大学、家畜改良センター、動物検疫所など動物衛生関係者が一堂に会し、泊まり込みで議論、情報交換を行っており、参加者からは「他ではできない情報交換の場となり有意義」との評が毎回寄せられています。

第28回東北病理標本検討会と第18回家畜衛生部門別検討会（「細菌」）は、平成21年9月10日、11日の両日、七戸町商工会会議室および東北支所会議室において開催



第37回東北家畜衛生協議会検討会

会議報告

されました。病理標本検討会では東北各県 pathology 担当者に加えつくばでの病理研修生や支所職員ほか計26名が参加し、参加者が事前に標本を検討した上で討議する形式で、14の症例について標本検討会が行われました。「細菌」では東北各県細菌担当者、家畜改良センター、支所職員計22名が参加し、岩村祥吉動物衛生研究調整監の「雌豚の繁殖生理と繁殖障害」、河本麻理子主任研究員の「子牛の原虫性下痢」、北海道支所の秦英司主任研究員の「牛乳汁由来黄色ブドウ球菌の型別方法の検討と遺伝学的背景の解析」の講演とともに、東北各県からの事例発表がなされ、活発な討論が行われました。

第29回東北地域病性鑑定担当者会議（「ウイルス」、「生化学」）および第5回東北地域放牧衛生担当者会議（「放牧衛生」）は、平成21年10月8日、9日の両日、「ウイルス」は支所会議室およびウイルス実験室、「生化学」と「放牧衛生」は七戸中央公民館で開催されました。参加者は東北各県の家畜保健衛生所、家畜改良センターおよび支所職員などで、「ウイルス」には15名、「生化学」には12名、「放牧衛生」に18名が出席しました。開催初日の8日は台風20号の影響を受け東北新幹線や東北本線のダイヤの乱れなどによりプログラム順の一部変更はありましたが、大きな混乱や問題もなく参加者の事前の対応など危機管理能力の高さを示すものとなりました。「ウイルス」では九州支所の今田

忠男研究管理監から「ニワトリウイルスの簡易同定法について」の講演と「発育鶏卵によるウイルス分離法」として羊膜腔内接種法の実際や9日齢卵と13日齢卵の発育の相違についての実習、および北海道支所の菅野徹主任研究員による「牛コロナウイルス感染症と日本流行株の遺伝子および抗原性解析」の講演がなされました。「生化学」では本所の新井鐘蔵上席研究員の「牛の消化器障害の病態生理」と本所の宮本亨上席研究員の「肺サーファクタントの生体防御作用と呼吸器疾患診断の可能性」の講演に引き続き、各県の実例報告が行われました。「放牧衛生」では北海道後志家畜保健衛生所の奥村利盛主査から「北海道の放牧と放牧衛生－後志管内を中心に－」、ヤシマ産業株式会社開発部田村佳子部長代理から「新しく発売されたダニ駆除剤『ダニレス』について」、東北支所の寺田裕上席研究員から「放牧病の標準的な治療・予防について」の講演とともに各県から放牧衛生対策の実例発表があり、それぞれ活発に意見交換がなされました。

平成21年度、東北各県の家畜保健衛生所の技術支援、関係機関相互の情報交換、連携協力を図るため東北支所が企画、運営する協議会および各種検討会等はそれぞれ来年度も継続することを確認して無事終了しました。協議会および検討会等を開催するに当たり、講師はじめ各県運営委員など関係各位の多大なご協力に対し深く感謝申し上げます。



第28回東北病理標本検討会



第29回東北地域病性鑑定担当者会議（生化学）